

快適 & 省エネ

夏の寝具新商品 キーワード

安眠のポイントは 温・湿度調節



ロマンス小杉の「クールズ企画」

寝具メーカー各社は今夏物向けで、涼感や吸湿・速乾性などの機能素材を使った布団や枕、カバー類を相次いで発売した。低価格品との競合が強まる寝具市場だが、快適機能と省エネ対策を主眼に開発した高付加価値商品を充実させ、店頭活性化を支援する。

ロマンス小杉は、夏の新定番として「クールズ企画」を立ち上げた。適温剤を内蔵して冷却効果を持続させる枕「しろうくまくら」と、吸湿・発散性のある素材と構造を採

用した「涼感敷きふとん」を開発。枕の適温剤は取り出し可能で、事前に家庭用冷蔵庫で6時間ほど冷やすと、18〜24℃の状態を約8時間保持する。

西川リビングは、温度調整機能を布団に導入した「ひんやりクール」を開発し、6〜8月の店頭に投入する。気温に応じて液体・固体の形状が変わる相変化物質（PC

M)を使い、寝具用に27℃に設定。マイクロカプセルに組み込んで生地にコーティングした。トレハロースを配合して速乾性や放熱性を高めたカバー類「サラットクリー

ン」も販売する。

京都西川は、湿度調節に注目し、吸湿涼感わたを使った寝具シリーズ「クールフィール28」を打ち出した。肌布団は側地を工夫し、内側に涼感のあるニット素材、外側に速乾素材を取り入れ、室内温度28℃の環境でもエアコンに頼らず、26℃と同様のさわやかさを実現する。